

## 異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化拡充を求める意見書

集中豪雨や竜巻等、数十年に一度というレベルの異常気象が頻発しており、多くの人命が失われるとともに、家屋や公共施設、農作物に甚大な被害をもたらしています。

識者の多くは、このような異常気象の原因を地球温暖化であると指摘しています。

環境立国を目指す日本としては、災害対策はもちろんのこと確実に地球環境をむしばんでいる地球温暖化を防止するために抜本的な施策を講ずるべきです。

よって、国におかれては、下記の事項について実施されるよう強く要請します。

### 記

- 1 集中豪雨等による災害に強い堤防や道路等の基盤整備、まちづくりの推進を積極的に進めること。
- 2 集中豪雨や竜巻等の局地予報体制充実のために、発生短時間予測が可能なドップラーレーダーを、計画中の箇所以外にもふやすと同時に、無事に緊急避難ができるような体制を確立すること。
- 3 学校施設や事業所等の屋上緑化、壁面緑化（緑のカーテン）のほか、環境に優しいエコスクールの推進、教室や図書館等へ自然エネルギーの活用を組み合わせた扇風機やクーラー等の導入を図ること。
- 4 森林資源などのバイオマスや太陽光、風力、小水力等の自然エネルギーの積極的利用を進めるとともに、バイオマスタウンの拡大や関係の法改正等に取り組むこと。
- 5 環境配慮契約法を実効性のあるものとするため、政府が率先して、温室効果ガス等の排出削減に配慮した契約を積極的に推進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成19年6月25日

上田市議会議長 土 屋 陽 一